

とこなめ市議会だより

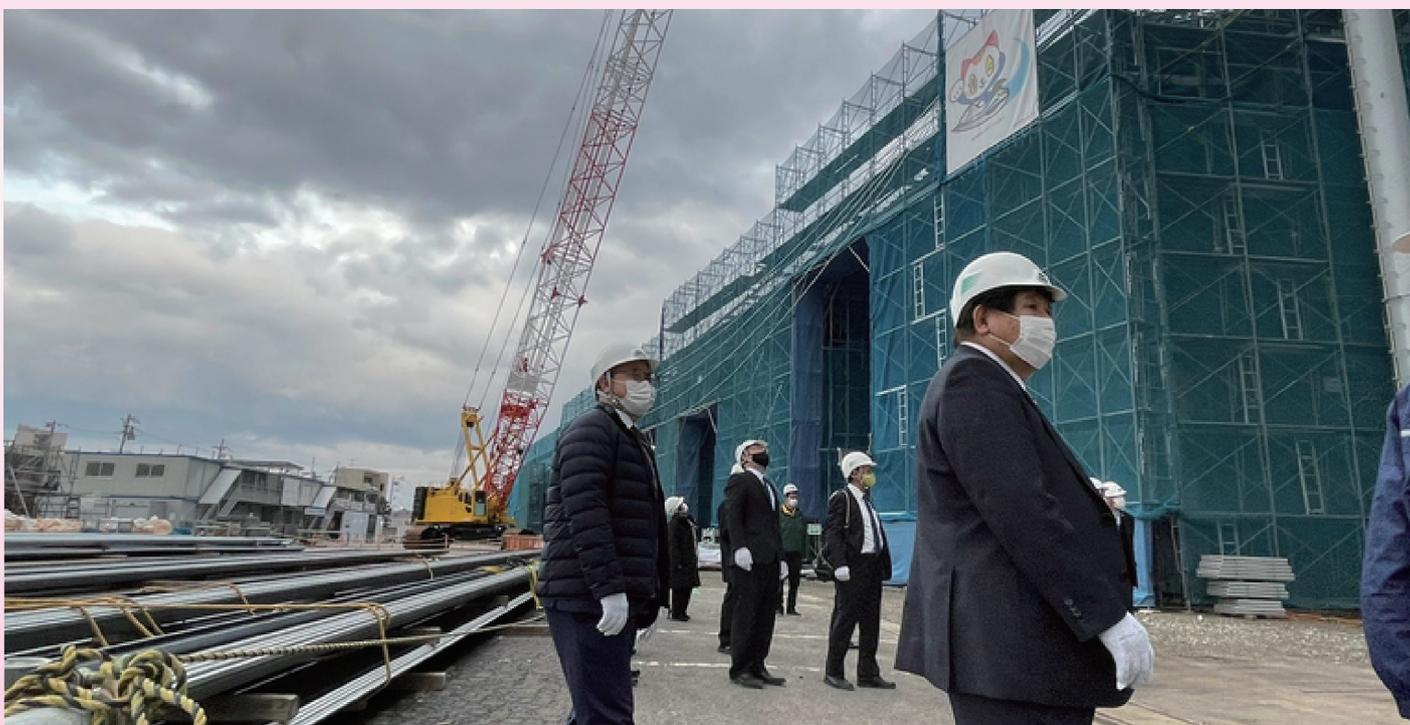
NO.
157

令和3年3月1日 編集/発行 常滑市議会

〒479-8610 愛知県常滑市新開町4丁目1番地
TEL : 0569-47-6128 (直通)
E-mail : gikaigiji@city.tokoname.lg.jp



新市庁舎建設工事現場 (令和3年2月4日現在)



ポートルースとこなめ 新設スタンド建設工事現場の見学(令和3年1月26日現在)



常滑市議会に関する定例会、委員会、協議会及び
議長公務等の情報を中心に発信しています。



左記QRコードから市議会HP及びフェイスブック
に簡単にアクセスできます。



一般質問録画映像
配信中



無料アプリ「マチイロ」を使って、「市議会だより」を
スマートフォンやタブレット端末に配信しています。

経済建設委員会活動報告（令和2年12月15日）

2021年秋に展示リニューアル予定のとこなめ陶の森資料館を視察しました。

リニューアルについては、以下①～③を踏まえて実施しています。

①リニューアルの考え
常滑焼の独自性を可視化し、未来に伝える拠点を構築する。

②展示テーマ

つながる100年、ひろがる100年、暮らしの中で生きる常滑焼

③とこなめ陶の森が伝えたいこと

- ・大物の特徴とする常滑焼100年のあゆみ
- ・常滑で受け継がれた生産工程
- ・常滑焼を代表する甕・土管、急須の技術の伝承
- ・常滑焼が常滑から全国に広がり使われ、暮らしの中で生きていくこと
- ・現在の常滑焼に関する情報の発信

展示の強化・見直しを図った点については、日英解説とともに音声ガイドの導入や急須の展示及び体験展示の拡充、更新が可能な常設展示スペースの確保、工アタイト（温湿度管理）対応展示ケースの一部導入をした点です。音声ガイドは多言語にも対応しており、導入することで外国人観光客にも分かりやすい展示とします。



ペーパーレス議会システムについての勉強会（令和3年1月8日）

近年、国がICT化を推進することに伴い、各地方自治体もICT化を進めている中で新型コロナウイルス感染症の影響もあり、社会的に急速にICT化が進んできました。

本市議会でも新市庁舎完成に合わせ、ペーパーレス議会システム、ウェブ会議等を導入し、議会・議員活動の活性化を行うことを目的として、議会のICT化を推進しています。そこで、ペーパーレス議会システムについて執行部と共に勉強会を行いました。

このシステムは、全国350自治体で採用されている実績があり、実際に体験してみると非常に簡単に操作・管理ができました。また、タブレット採決にも対応できるようになっていました。ペーパーレスを議会に導入する際の使用感等の参考となりました。

導入については、他社のシステムなどと比較、調査・研究し、常滑市議会にとって最適なシステム等を今後、検討する必要があります。



常滑市病院事業経営研究会（令和3年1月19日）

常滑市役所において、常滑市病院事業経営研究会が開催されました。

現在、常滑市及び半田市では、平成31年2月4日に取り交わした「半田市と常滑市の病院連携協議に関する合意書」の内容に基づき、協定書を取り交わす方向で準備を進めています。

この協定書は、統合形態、時期、基本的な統合条件や負担の方針を規定している「基本協定書」と、より具体的な説明と、両市の費用負担を明確にした「実施協定書」から構成されています。その内容は、両市が非公務員型の地方独立行政法人を共同で令和7年4月1日に設立することを目標に掲げています。また、法人の設立に必要な財産的基礎を形成するために最大限の経営努力を行うことや、経営統合に向けた取組を具体的に推進するために、両市職員で構成する統合準備室を設置すること等を設立条件として示しています。

経営統合した新病院が常滑市民及び半田市民に寄り添い、暮らしを支えるものとなるよう今後も研究を進めていきたいと考えています。

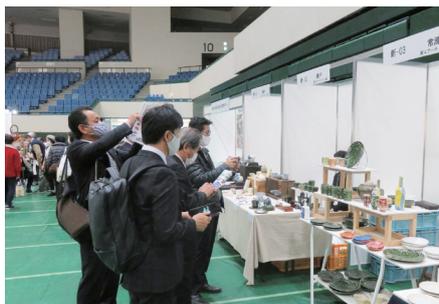


常滑市民病院

市議会の活動報告



11/25 半田・常滑合同議員勉強会：常滑市役所
・オンデマンドシステム及び将来のモビリティについての調査・研究



11/26 経済建設委員会：名古屋市
・やきものワールド 2020 の視察



12/8 議員勉強会：市役所
・スーパーシティ構想についての調査・研究



12/11 議会改革特別委員会：市役所
・デジタル化についての調査・研究



12/15 経済建設委員会：THE TRES TOKONAME (ザ・トレス 常滑：結婚式場)
・市内新施設の見学



12/15 経済建設委員会：とこなめ陶の森
・リニューアル工事の現状についての調査



12/17 総務・研究委員会：市役所
・瀬木区自主防災会の取り組みについての調査



1/13 執行部及び議員勉強会：市役所
・自治体の DX についての調査・研究

— 市議会ワード Q&A —

Q：市議会って何？

A：市議会は、地方自治法に基づき市に設置されています。常滑市を住みよいまちにするためには、市民全員で話し合うことが理想です。しかし、全員が集まって話し合うことは難しいため、選挙で選ばれた議員が市長から提案された市政運営の方針や、予算・条例など市民生活に直結したことを審議するとともに市政のありかたを提言しています。常滑市をより良くするために活動しています。

Q：一般質問って何？

A：市議会には、定期的に開かれる定例会（年4回）と必要に応じて開かれる臨時会があります。一般質問とは、定例会の中で議員が広く市の行政の全般にわたる諸課題について、質問することや報告・説明を求めることをいいます。答える市の職員も十分な準備が必要なことから、事前に質問内容を通告し、その範囲内で質問します。

Q：議会中の「休憩」って何？

A：会議の途中で、会議を一定時間休止することをいいます。議長には会議を円滑に進める役割があり、必要と認めるときはいつでも「休憩」を宣言することができます。宣言されている時間は会議中ではなくなります。そのため、休憩中に、仮に発言があったとしても正式な会議の発言ではなくなり、会議録等には反映されません。

「第8回議会と語る会」を開催（令和2年12月14日）
お招きした3団体の活動内容や意見等を報告します。

とこなめ障がい者相談支援センター
（常滑市障がい児親の会「つなびあ」）

「とこなめ障がい者相談支援センター」は、障がいのあるご本人や家族、また地域の方のサポートをしています。

今回お話しを聞いたのは「常滑市障がい児親の会とつなびあ」です。医療的ケアや重症心身障がいを持つ子どもの保護者が主体となり、保護者同士が悩みを打ち明けられる場を設けるということで平成31年に発足しました。

常滑市内には、医療的ケア児が通える保育園、療育施設がなかったため、就学前は市外の施設に通っていました。同年代の子と過ごす時間は貴重でした。市内の学校にはエレベーターやスロープがない、看護師がいらないことなどにより、特別支援学校に週3回通学しています。通学時は、医療行為のできる看護師が付き添いをしていないため、親が毎回送り迎えをしています。知多半島には肢体不自由児が通える学校が1か所しかなく、通学だけでも体に負担がかかるため、市内の学校に通えるようになればよいと思います。

今後の課題は、高校卒業後の進路がないこと、災害時の障がい児対応マニュアルがないことです。



とこなめ地域ねこの会

「とこなめ地域ねこの会」は、地域猫活動として野良猫に起因するトラブルを減らし、住民生活を向上させる環境保全のために、平成27年から活動をはじめました。

猫のトラブルで最も多いのは、ふん尿をとるこまわすすることによるもので、適正な場所に猫トイレを設置することで解決します。

猫は、1組で1年に20匹以上を産みます。

また、野良猫の寿命は4〜5年であり、捕まえて不妊去勢手術を施して元の場所に戻すことによって自然淘汰により数を減らしていき、地域トラブルを解消することができます。

令和2年度からは地域猫不妊去勢手術費補助金制度ができ、一定の成果がありました。他地域からの猫の流入や正しいエサの与え方、猫トイレの設置など地域住民の理解不足などの課題が出てきました。正しい理解を得るためにも、PR活動や勉強会などを行う必要があります。

また、地域の協力がなくては、野良猫を減らすことができません。地区・行政が一体となって取り組むことで野良猫を減らすことができます。

補助金制度について、市は有識者の意見を踏まえて改善してほしいと思います。



530とこなめ

「530とこなめ」は、家庭ごみの減量化を目的として平成24年に発足しました。

主な活動は、小学4年生を対象にした「ごみ分別体験学習授業」、各種イベントでのごみ分別、市民病院周辺及び榎戸松並木通りのクリーン大作戦（年一回）です。他にも、ごみ分別の新たな取組やルーラー変更の普及、他自治体から視察に来た時などには行政への協力を行っています。

団体の課題としては、新規会員がなかなか増えないことと、ごみ減量の周知に資金が必要なことです。ごみの減量については着々と成果が出ており、会の発足時の平成24年は1日あたりの家庭ごみ618gだったのが、令和2年11月には457gまで減っています。今後、さらなるごみの減量化を進めるためにごみ分別の普及・浸透をしていきたいです。今後でもごみ分別（減量）の大切さを伝えるために、530とこなめ通信の発行、CCNCの活用、小学校でのごみ分別壁新聞の掲示等を実施していきたいと思っています。

今後の10年を踏まえて、ごみ廃棄物をゼロにすることを目的とした「ゼロウェイスト宣言」が出せればと思います。

